

旧第2通学区の高校の将来像を考える協議会
第5回会議（書面開催）
委員提出意見とりまとめ

協議事項1：パブリックコメントの結果について

- 9名19件という意見数が大変少ないように感じた。上高井郡市PTA連合会長名で各校にもパブリックコメント提出の依頼を出したが、各校での周知方法もどこまで進んでいたかはわからないのが現状。より多くの意見を集約してまとめるのは大変だが、意見が無くとも、その状況の周知が大切だと感じる。
- もともと多くの人々がコメントに応じるものではないのかもしれないが、やはりコメント数が少なかったと思う。時期的、社会的諸状況の中で、適切な募集期間であったのだろうか、振り返ればやや疑問がのこるところでもある。

上高井郡市PTA連合会ではコロナウイルスの影響で諸会議がなくなってしまったこともあり、郡PTA事務局や校長会等を通じてラインズメールやオクレンジャー等でパブリックコメントの周知とコメントの協力をお願いしたが、人事異動等変化が伴う多忙な時期とコロナウイルスの影響もあってか、対応していただけなかった学校も多く、周知されたとは言いがたかったように思う。

『民主的なプロセスをもって将来の高校のことを当該地域で考える』という という目論見が当協議会にある（と個人的に思っています）中で、このパブリックコメントの中身は大切な位置を占めるように思う。せっかくPTAを代表して参加させていただいたが力不足で周知が及ばず申し訳ない気持ちである。

協議事項2：旧第2通学区の高校の学びのあり方について意見・提案（案）の修正について

- 意見・提案書（案）の中に資料としてパブリックコメント全てを加えることを希望。
パブリックコメントを拝読しますと、これまでの本会の協議内容のみならず、どちらかと言えば協議する前提となっていて（例えば県教委の基本方針等の）諸条件に対しての意見が散見されます。これまでの協議会においても同様な質問や意見がありましたが、特に少人数学級編成に対する要望につきましては複数の言及があり、意見として尊重すべきものと思います。

（都市部存立普通高校の基準を維持すると明記した本提案書と矛盾するので資料として追加しづらいかと思いますが、前提条件をめぐっても多様な意見が未だあることを尊重するということが、健全な会であることの必要条件かと考えます。）

協議事項3：旧第2通学区の高校の学びのあり方について意見・提案の提出方法について

(特に無し)

その他意見

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、子どもたちの教育を受ける環境が大きく変化した現実を見て、より多くの教育予算の配分がこれまでの経験則だけでは通用しないものと感じた。教員の増員、IoT等の充実は急務であると思う。
- 生徒の数が少ないと高校の授業や部活動など、活動が狭められてしまいがちである。少子化に伴い旧第2通学区生徒数の減少は急速なので早めの対応をお願いしたい。
- 新型コロナウイルス対応の臨時休校中はオンライン授業体制や通信制の必要性が求められた。ICT機器を活用した教育や単位制・多部制・定時制の充実を求めてお願いしたい。
- 職業科の高校では技術者を育てることが地域の企業等から求められている。総合技術高校では専門性を維持しながら産業の高度化に対応している特色を保ちながら新しい学びの場になるよう考慮いただきたい。
- 高校再編計画はデリケートな問題なので、同窓会や地域住民の高校に対する思いに配慮しながらすすめていただきたい。